



マスコットキャラクター
「たねっこ」

種まき通信



第56号 編集・発行：田根地区・地域づくり協議会
2024.1 〒526-0273 長浜市高畑町316-1 Tel.74-1450

田根グレードアップ

田根地区・地域づくり協議会
会長 三上 保彦

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年五月に新型コロナウイルスが五類感染症へと移行され、以前のようない日常が戻りつつあります。

当協議会でも、四月二十九日に通常総会を開催後、五月三日の波久神社神輿かきに合わせた「にぎわい創出事業」以降、様々な事業に取り組んでまいりました。

大学との交流も、従来からの慶大に加え、東大や早大、専修大、京都橘大などとますます盛んになりました。コロナ過中はオンラインによる交流が主流でしたが、昨年は直接的なふれあいの機会が増えました。

また、新たに「アーティスイ・イン・レジデンス」にも取り組み、田根にポーランドのアーティストが滞在し、田根小の子

どもたちとの国際交流ができました。さらに劇団との交流も始まり、これがご縁で昨年末には劇団の代表者が長浜市に拠点を構えることになりました。

こうした取り組みは、すべて田根小の子どもたちを中心に進めてきました。小規模であるが故の課題もありますが、小さい学校だからこそできることがあるのではないかと考えています。そんな田根小が令和七年度に一五〇周年を迎えます。現在、準備委員会が設立され、今後、各自治会から推薦された方を中心に実行委員会に移行されます。

当協議会では、今年の事業をブレイベントとして位置づけ、田根小を中心に地域全体が盛り上がるっていければと考えていますので、ご理解とご協力をよろしく願います。

こうした取り組みとは別に、

昨年末「農業者連絡会」を初めて開催しました。田根にある四つの集落営農組合と四人の中核農業者の皆様に呼びかけ、田根の今後の農業経営について情報交換をさせていただきました。

近年、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。そのような環境下でも田根の美田を守っていくことは田根地区の生活環境の維持に不可欠です。まだ始まったばかりですが、こうした取り組みも大切な地域づくりだと考えます。

もう一つ、生協（コープし）による移動販売が今年春からスタートする予定です。ご利用いただければ幸いです。

本年もよりグレードアップした田根地区となるよう活動してまいりますので、昨年に勝るご支援ご厚情をお願い申しあげます。



長浜市地域まちづくり連絡会

令和五年度事業を修了しました

長浜市には市内十八の地域づくり協議会で組織する「長浜市地域まちづくり連絡会」という団体があり、まちづくり関係者の研修や情報交換を行っています。

会長は持ち回りで、令和五年度は田根地区・地域づくり協議会が会長をしています。



第2回研修会「地域と学校の連携と協働について」

七月に総会を開催し、承認された事業計画に基づき様々な事業を実施してきました。

八月には、実務研修ということで十月から始まった「インボイス制度」について、滋賀県よろず支援拠点から税理士さんをお招きして学びました。

この研修を除いて、今年度は「学校を核とした地域づくり」をテーマに取組みました。

十月に、県のコミュニティスクール・アドバイザーをされている立命館大学の先生の講演を聴き、十一月には先進地である兵庫県丹波市の市民活動支援センターに行ってきました。

丹波市は、長浜以上に過疎化や少子高齢化が進んでいるそうです。そんな、ある意味「先進地」の取り組みはとても参考になりました。



丹波市の取り組みについて「NPO法人たんえん」さんのお話を聴きました

丹波市市民活動支援センターの情報誌にはこんなことが記されています。

「人口減少は課題だ」と言われることも多いですが、正確には、「人口減少によって引き起こされる様々な課題」と言うべきでしょう。例えば「役員のなり手がでない」「担い手が減って草刈りができない」といった課題は、まさに人口減少によって引き起こされていることでしょう。

人口減少は高齢化を伴っていることもあり、深刻な課題も現れてきています。だからこそ、課題整理や対策を検討し、できることから取り組むことが重要です。
(情報誌からの抜粋)

こうした講演会や先進地視察を経て、十二月には市内で行われている学校と連携した活動報告会を開催しました。

市内では、余呉、高時、湯田、びわ、北郷里の各地域で行われています。それぞれ特徴のある素晴らしい活動で大変参考になりました。今後に生かしていきたいと思っています。



第3回研修会「活動報告会」後に行われた意見交換会

田根まちセンからのお知らせ

2024
1月



謹賀新年

令和6年もどうぞよろしくお願いいたします



読書を楽しもう！

Let's Enjoy Reading

4月スタートの読書サークルが
メンバー募集を開始されました。
くわしくは別チラシ(白色)をご覧ください。



みなさんの“学びたいこと”大募集

「まちづくりセンターで〇〇を学んでみたい！」
というようなご希望があれば、お知らせください。
今後の生涯学習講座等の内容として検討したい
と思います。



♪ いろんなチラシあります ♪

まちセンには市内外のさまざまなところから、みなさんに知ってほしい！とイベ
ントのチラシや広報誌が届きます。生涯学習、文化、芸術、スポーツ、歴史、まちづ
くり、ボランティア活動など、ジャンルは多岐にわたります。何か情報はないかな？
と思ったら、お気軽におたずねください。

展示作品のご紹介

こちらの写真は、こうのとりが空を元気にば
たいている畳2畳分くらいの大きな作品
です。

放課後児童クラブ「こうのとりの」の児童の
みなさんが昨年の夏休みに取り組まれた力
作です。小さい写真なのでわかりにくい可
もしれませんが、ペットボトルのキャップを並
べてあります。

しばらくの間、田根まちづくりセンターに展
示していますので、ぜひお立ち寄りください。



R6年1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休
館
日
で
す
赤
色
が

田根まちづくりセンター

開館時間：8時30分～17時15分
(夜間使用がある日は夜間もスタッフ在中)
休館日：月曜、第1・3日曜、祝日、年末年始
〒526-0273 長浜市高畑町316-1
TEL 0749-74-1450
FAX 0749-74-1445
✉ tane-machisen@zc.ztv.ne.jp

気軽に声掛けてください！

堀田雅史の活動報告

● 多くの大学生が来てくれました

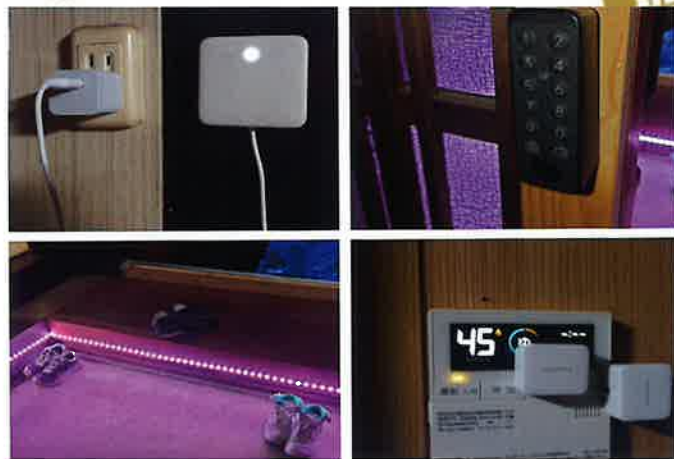


今月も多くの大学生が田根に来てくれました！

① 地域おこし協力隊中村さんと滋賀大3名
サウナが好きな4名で、我が家にテントサウナを設置し冬のサウナを楽しんでいました！私はサウナに興味がないので眺めていただけです！サウナ道具は我が家に置いてありますので、サウナを体験したい方は私までご連絡ください。地域おこし協力隊の中村さんに繋がります。

② 慶応大学の学生 9名
11月下旬に先生を含め 9名の学生が田根に来て、夏に製作した「たねまる」という本棚の調整を行いました。それ以外にも、田根を練り歩く「たねりあるき」を行い、地域の方と交流したようです！突然のお声かけに対し、快くご対応いただいた皆様ありがとうございます。学生たちはよりこの地域を好きになったようです。年明け 1月にもまた来るそうです！

● 今年買ってよかったものを紹介！



この原稿は 12月に書いています。プライベートな話題になりますが、1年を振り返って「これを買ってよかった！」と思ったものを紹介したいと思います。

【左上】 switchbot ミニハブ
スマートホームの基幹となる機器です。これがあることにより、外出中にスマホやタブレットで家電の制御ができます。

【右上】 switchbot スマートロック
以前も紹介しましたが、指紋・暗証番号・スマホなどで家の鍵の開閉が出来ます。

【左下】 switchbot テープライト
様々な条件を設定すると自動で点灯できます。色も 1万色以上設定できます。

【右下】 switchbot スマートスイッチ
照明のスイッチなどに設置すると、スマホで押す・戻すなど制御できます。私はお風呂の給湯・追い炊きボタンに設置し、外出中にお風呂を沸かせるようにしてしました。

全て Amazonで購入可能です！不明な点は堀田まで！

プロフィール

堀田 雅史 ほった まさし

1986 年、埼玉県桶川市で生まれ、群馬県東吾妻町で育ちました。
趣味は、サッカーとフットサルです！

編集後記

1年を振り返ってみると、今年は多くの大学生が田根に来てくれたかなと思います。人数でも昨年よりも多く、来てくれた大学生が更に友達を紹介してくれたり、どんな輪が広がっている感じがします。ただ、まだまだ地域の皆さんに影響を与えているところまで出ていないのが反省点かなと思います。大学生たちも地域の皆さんとの交流し、一緒に何かを作り上げたいという想いを強く抱いていますので、来年はもっと大々的に何かをやりたいです！ぜひご協力の程お願いいたします。

最後になりますが、本年も大変お世話になりました。2024年も引き続きよろしくお願ひ致します。